



清風園がバザー

大篠地区婦人会の協力で

施設の運営資金に役立てよう
と、今年も恒例になった、老人ホーム「土佐清風園」（国沢守道園長）と大篠地区婦人会（吉田綾子会長、会員二百五十人）共催のバザーが十一月三十日、地区公民館で

たくさん主婦でにぎわった清風園バザー

開かれました。回を重ね、今年で四年目。

清風園からは、お年寄りたちが

普及所から②⑥

白菜の出回る時期となりました。あのサクサクとした歯ざわりはなんともいえないものですが、手作りの味はまた格別です。今回は、浅漬けと朝鮮漬けを紹介しますので、ご家庭で作ってみませんか。

◎かおり甘酢漬け

白菜を使った漬物

〔材料〕

白菜一株（二五〇〇g）、塩大さじ三、酢大さじ三、砂糖大さじ三、しょうがが一つかけ、コショウ少量、ユズの皮。

〔作り方〕

①白菜は縦四つ割にして洗い、全面に塩をふって、しんなりとさせておく②砂糖と酢を合わせてよく混ぜる。砂糖がとけにくい場合は、火にかけて煮とかしてから十分さ

楽します。

◎朝鮮漬け

〔材料〕

白菜二〇kg、塩七カップ、大根三本、煮干し二〇〇g、水一〇カップ、花かつお二〇〇g、赤唐辛子一〇g、ニンニク一株分、しょうが五〇〇g、リンゴ五個。

〔作り方〕

①白菜は二つ割（大きいものは四つ割）にして断面に塩をぬり込む。

丹念に編んだ毛糸のマフラー、ク

ッション、座ぶとなど約百五十点を出品。婦人会からは、会員の皆さんに広く呼びかけ集めた三百点の日用品と新鮮な野菜など、たくさん品の品が並べられました。午後一時のオープンと同時に、五十人近くの主婦が訪れ、かご一杯に

買い物をしていました。吉田会長は「このような活動を多くの方に知ってもらい、今後とも会員の皆さんの積極的な協力をお願いしたい」と、話していました。

〔南国農業改良普及所〕

親子でもちつき

力いっぱいペタンペタン

ひとあし早いおもちつき——が十二月四日、フレンド幼稚園（島内智世園長、児童二百六十人）で行われ、お父さんといっしょにもちつきを楽しみました。表紙写真

これは、同園の保護者会（小笠原史会長）の主催で、毎年この時期に行っており、子どもたちの楽しみな行事の一つです。

保護者会の役員さんは、朝早くから準備に取りかかり、庭にテントを構え、蒸し器やもろふた、うす、きねを用意。これらの一部は、

バザーの収益金で今年そろえたものです。

そして午前十時、最初のお米が蒸し上がり、まず三歳児から順番に、重いきねをお父さんたちの力を借りて、ペタン、ペタンと

つきました。つき終わったおもちも、子どもたちが上手に丸め、おいしそうに食べていました。

お父さんたちは、午後一時過ぎまで、家庭へ持ち帰ってもらおう分のおもちもつき、少し疲れたようでしたが、子どもたちのためにと頑張っていました。